



ボランティア・NPO

こんにちは、支援センターです。

〒930-0094 富山市安住町5-21 富山県総合福祉会館内 TEL:076-432-2987 FAX:076-432-2988
URL <http://www.toyamav.net/> E-Mail info@toyamav.net

新年あけましておめでとようございます。

皆様には、つつがなく新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
旧年中は、格別のご厚情をいただき、誠にありがとうございました。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。



昨年は、北陸新幹線の開業や「このゆびとーまれ」惣万佳代子理事長のナイチンゲール記章受章、梶田隆章さんのノーベル物理学賞受賞、射水市での「全国海づくり大会」などのほか、全国では関東・東北豪雨、口永良部島などの噴火、選挙権年齢引下げ、マイナンバー制度などがありました。

当支援センターは19回目の新年を迎え、少子・高齢化が進む中、地域課題に取り組むNPO活動は重要性が増し、県民の皆さんが気軽にボランティア・NPO活動を利用、参加できる環境づくりが大事だと考えております。

このため、当支援センターとしましては、皆様の声を一層取り入れ、ボランティア・NPO活動が円滑に進展するための支援を継続するとともに、皆様のご芳志である寄付金をもとにした新たな活動助成にも取り組み、心豊かでふれあいのある地域社会の実現を目指していきたくと思います。

皆様の今後さらなるご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

本年が昨年にもまさる良い年となりますよう皆さまのご繁栄をお祈りいたします。

「第27回ボランティア・NPO大会」開催！

昨年10月、ボランティア・NPO活動の発信・参加・連携・交流を目的に、10日（土）県総合福祉会館、31日（土）富山市総曲輪グランドプラザで、参加者5,000人を目標に開催しました。

会館では、作品展示・販売、活動紹介など13ブースを設けたほか、3団体が講座を開きました。1階ホールでは式典を行い、小泉副会長の挨拶、寺林富山県副知事の祝辞の後、知事表彰、ボランティア活動推進富山県民会議会長表彰、団体奨励賞、寄付感謝状の授与が行われ、最後にココペリの井上理事長から大会アピールを宣言していただきました。その後、落合恵子さんからご講演いただき、約300名の方が熱心に聞いていらっしゃいました。（講演概要は次ページ）

グランドプラザでは、ステージとブース会場を設け、ステージではボランティア等11団体が意見発表などを行い、ブース会場では作品展示・販売、活動体験など43ブースを設け、来場者で賑わいました。このほか、クイズラリーなども実施し、応援に「きとくと君」も参加しました。当日は、小雨模様の肌寒い天候でしたが、前回に比べ来場者は増えていました。来場者からは「ボランティアに参加してみたい」、「深く学べた」などの感想などいただきました。

お陰をもちまして無事2日間を終えることができました。ご来場の皆様、参加団体や運営に協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

本年も引き続き開催したいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。（日程等は決定次第ご連絡します。）

●大会開催結果概要●

来場者数(2日間):約5,700名 / 発表・出展参加団体数:延べ67団体 / 「一言メッセージ・川柳」応募者数:60作品



落合 恵子さんの講演「生命(いのち)の感受性～心のアンテナ、磨いていますか～」概要

落合恵子さんから、受彰者へのお祝いの後、「ボランティアに何ができるか、わたしに何ができるか。」を考える時間にしたところから始まりました。以下、落合さんが講演されたことについて、担当者が聞いた内容、感想をまとめたものです。

まず、来場者の年代をお聞きになり、何故、女性だけが年齢を重ねることがマイナスに取られているのだろうかという疑問を投げかけられました。

そして、これまで社会にいろいろな問いかけをしてきたが、命から見ていかなければ何を見るのかという問いをずっとしてきた、また、最も声の小さい人の声を最も大事にするという社会というものを考えてきたとのことでした。

落合さんが認知症を患った母親の介護をされているとき、今の髪型に変え、ベッドの傍らで、母親と目線の高さを同じくすると、母親から「ふ、ふ、ふ」という言葉が漏れた。その時の楽しげな口調などもあったが、人は数字（数値化されたデータ）では測れないと感じたということでした。

母子家庭で育った落合さんは、母親になぜ生んだのかと尋ねたとき、① 自分を本当に必要として生んでくれたこと、② 差別をなくし、差別される者の負担がなくなるよう生きること、そして、「一緒に人生を生きていこう。それぞれの人生を。」と言われた。このときが自分の第2の誕生日となり、それからの活動の基盤ができたとのことでした。

そして、ボランティアで重要な点として、次の2点を挙げられました。

- 1 ボランティア自身、1人1人が自分で立っていなければならないということ。
- 2 ボランティアをする者とされる者が同じ目線になる、対等の関係となること。

ところで、2011年の東北大震災では、被災者の整然とした振る舞いに全世界から称賛されたこともありましたが、落合さんとしては、「つらい時はつらい。」と、「寒い時は寒い。」と訴えることも大事だと問題提起したこともあったとのことでした。

また、岩手県内陸部の保育所の方が津波被災者に何が支援できるだろうかと悩んでいた時に、園児の「歌がうたえる。」という言葉聞き、被災者を元気づけるには子どもの歌声が一番、そしてラジオでその歌声を放送したという連絡が、落合さんにあったそうです。そのときの歌が「空より高く」で、落合さんが以前制作した曲で、地域での応援歌にもなったそうです。その後、CD絵本「空より高く」として出版し、その売上げの一部を福島県の子どものために寄付されているとのことでした。志にご賛同される方は一度手に持ってみられるのもいかがでしょうか。

最後に、その絵本に載っている歌詞の手話と共に、「空より高く」を聞きました。そこでも、災害情報は耳の聞こえない方にも必要だがどうすれば（できるのか）、という問題も提起されました。

落合さんは、これからも命をみつめ、社会にいろいろ問いかけていかれるのだと感じました。



◆ 平成27年度 NPO法人設立団体一覧（H27.4～） ◆

団体名	代表者	住 所	活動内容（概要）	認証日
富山県ダンススポーツ連盟	高田 順一	富山市西大泉 15-8	富山県のダンススポーツを統括する団体として、ダンススポーツの振興に関する事業を行う。	27.04.01
キリン	小竹 美夏	富山市四ツ葉町 2-24	各種スポーツ・文化教室、大会の開催、各種研修会・選手の育成・派遣等の事業を行う。	27.04.14

(つづき)

団体名	代表者	住 所	活動内容（概要）	認証日
川の音	場家 代紀江	富山市婦中町 外輪野 188	地域住民に対して、高齢者福祉に関する事業を行う。	27.04.24
富山ダルクリカバリークルーズ	林 敦也	富山市岩瀬古志 町 18	依存症で苦しんでいる人々及び家族等に対して、回復促進のためのプログラムを提供し、手助けをする。	27.04.27
Tスポとやま	松井 克仁	小矢部市小神 204-3	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、富山県民に対して、スポーツ雑誌発行等に関する事業を行う。	27.05.15
アポロン	野入 潤	射水市本江 2280	古民家などを活用し、交流・制作・発表の場などを創出、運営、あるいはその監修やプロデュース等の事業を行う。	27.06.03
ココデウェディング	西谷 富士子	富山市桜町 1-5-15-308 プレミアム富山駅前	一般市民に対して、富山県内の結婚式に関する情報提供を行う。	27.06.05
ひみきときとらボ	小島 正浩	氷見市窪 1774-1	氷見市の自然と文化を活かしたまちおこし事業、フードバンク事業、雇用促進事業を行う。	27.06.11
速川活性化協議会	山崎 勇二	氷見市小久米 678	速川地区自治振興会や関係諸団体等と連携を図り、産業の振興、地域文化の伝承等あらゆる活性化事業を行う。	27.08.26
笑顔スポーツ学園	小川 耕平	富山市坂本 1946-1	広く市民に対して、スポーツ活動推進支援に関する事業を行う。	27.09.11
地域ブランド後押し本舗	寺嶋 圭吾	富山市緑町 1-4-1	富山県内において、地域ブランドを活用した特産品の販売戦略の指導、助言等に関する事業を行う。	27.11.05
アメニティータータルマネジメントとやま	川岸 広幸	富山市鶴ヶ丘 102-1	広く市民に対して、まちなか活性化に関する事業を行う。	27.12.11

☆富山県民ボランティアネットワークに参加しませんか☆

富山県民ボランティアネットワークはボランティア・NPO活動に関係しているグループ・団体の交流促進を図るもので、登録された団体へは、支援センターから情報誌や各種講座開催等の情報を提供させていただいています。

そのほか、富山県総合福祉会館（サンシップ）利用に関する特典もございますので、未参加のボランティア団体等の皆様は登録をご検討いただきますようお願いいたします。なお、登録、参加費用は不要です。

● ボランティアネットワークに参加すると ●

○ボランティア・NPOに関する講座、大会開催など各種情報を支援センターからお届けします。

- ・サンシップの会議室等基本利用料金（マイク等付属設備利用料を除く。）が半額になります。
- ・上記施設利用時のサンシップ駐車場料金が無料になります。

● 参加するには次の書類を提出してください ●

- ・ボランティアネットワーク参画申請書
- ・①会則等の写し、②役員名簿、③収支及び事業概要を記載した書面（NPO法人は不要）

平成28年度ロッカー利用団体募集！

富山県総合福祉会館（サンシップとやま）のボランティア交流サロンに設置しているロッカー＜利用料無料＞の利用団体を募集します。印刷用の紙や文房具など、団体の活動に利用する物品の収納にぜひご活用ください。

申込方法等詳細については、1月上旬にチラシ等でお知らせします。

1 利用内容

(1) 規格

サンシップとやま3階 ボランティア交流サロン内 ロッカー

①幅 393mm×奥行 482mm×高さ 395mm （ダイヤル施錠式） 46 個

②幅 410mm×奥行 413mm×高さ 387.5mm （ダイヤル施錠式） 8 個

※②は、郵便物（普通郵便）受付を希望される団体に貸出

※1 団体につき1 個に限ります

(2) 利用期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日

2 応募資格

富山県内でボランティア・NPO活動を行っている団体

※定期的にボランティア交流サロンを利用する団体に限ります。

3 利用料

無 料

4 申込方法・締切

利用申込書を郵送または持参

申込締切：平成28年2月12日（金）

5 利用団体の決定

平成28年3月上旬

（応募者多数の場合は抽選を行います。）



● 相談会・講習会 受講者募集中！ ●

● NPO実務講座「NPOの自立に向けてのシーズ探し～自立に向けての事業の種は、地域課題の中に～」 受講者募集中！ ●

コミュニティビジネスで、地域の課題から事業のシーズ（種）を探して、事業化、そして経済的に自立してみませんか。
今回、その事例等を含めて、実践的なお話をさせていただきます。是非一度ご参加ください。

*日 時：平成28年1月22日（金） 13:30～16:00

*講 師：永 沢 映 氏（NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事）

*対 象：NPOの組織運営に携わっている方、コミュニティビジネスに関心のある方など

*場 所：富山県総合福祉会館（サンシップとやま） 704号室

*定 員：30名（先着順）

*申込締切：1月13日（水）

●「NPO法人設立基礎講座・相談会（高岡地区）」受講者募集中！ ●

NPO法人のメリット、法人立ち上げ方法から運営の疑問などについて、少人数による講習会と（個別）相談会を、高岡市で開催します。

NPO法人を立ち上げようとお考えの方、NPO法人に興味のある方など、ご参加をお待ちしております。

*日 時：平成27年1月24日（日） 14:00～16:00

*定 員：10名（先着順）

*内 容：NPO法人のメリット、NPO法人の設立や認証手続き など

*申込締切：1月16日（土）

*場 所：高岡市生涯学習センター 研修室503（高岡市末広町1-7 TEL 0766-20-1800）

●公認会計士・税理士による「NPO会計税務基礎講座」受講者募集中！ ●

公認会計士を講師に、具体的な事例をもとにして記帳や決算諸表などを作成していく計5回の連続講座です。

*日 時：平成28年1月26日（火）～2月9日（火） 18:30～20:30 各2時間（計5回）

*内 容：簿記の基礎、損益計算書等の作成、納税について（法人税など）

*参 加 費：1人 2,000円

*場 所：富山県総合福祉会館（サンシップとやま） 703号室

*申込締切：1月13日（火）

*定 員：20名（申込多数の場合は抽選）

※「NPO法人会計・税務入門」（羽田野 了策 著/中央経済社 3,456円税込）を使用します。

ご自分で準備されるか、当センターで注文されるかをご記入のうえ、お申し込みください。

●NPO法人の「労務管理基礎講座」受講者募集中！ ●

雇用に係る労働保険や社会保険などをわかりやすくお話する基礎講座です。また平成28年1月より労働保険にマイナンバーの使用が始まります。ぜひご参加ください。

*日 時：平成28年2月17日（水） 13:30～16:30

*内 容：労働保険・社会保険のしくみと手続き、労務管理（労働基準法のポイント）、
労働保険でのマイナンバー使用について

*場 所：富山県総合福祉会館（サンシップとやま） 602号室

*申込締切：2月10日（水）

寄付金について

当支援センターでは、昨年より、県内のNPO法人、ボランティア団体の活動を支援するための原資として、広く県民の皆様、県内の団体にお声をかけさせていただきました。

お陰をもちまして、昨年12月の寄付金の状況については次のとおりでした。これから、この資金を活用してNPO法人等への支援に活用させていただきます。

本年以降も引き続き同様の支援を行ってまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

平成27年12月24日現在

寄付金申込件数 83件

寄付金額 442,000円

このご芳志のもとに、近々県内ボランティア団体、NPO法人に対する助成募集を開始いたします。

納本制度について

先般、国立国会図書館の方がお見えになり、納本制度の説明と県内NPO法人等への周知の依頼がありました。

県内のNPO法人等の皆様で、今後の出版をされる場合には、国立国会図書館への納本をお忘れなく、お願いいたします。

この納本によって、その出版物は国民共有の文化資産として長く保存され、国民の知的活動の記録として後世に継承されます。

●納本制度とは●

図書等の出版物をその国の責任ある公的機関に納入することを発行者等に義務付ける制度のことであり、わが国では国立国会図書館法により国内で発行された出版物を国立国会図書館に納入することが義務付けられています。

問合せ先 国立国会図書館 収集書誌部 国内資料課 収集第一係
〒100-8924 千代田区永田町1-10-1 TEL 03-3581-2331
（その他ホームページ参照願います。）